



学校だより

おつひ

半田市立乙川東小学校

第11号

令和7年 1月 7日

発行責任者：福島 富美

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう

2025年

あけましておめでとうございます
今年もどうぞよろしくお祈いします

雲一つない青空の穏やかな元旦を迎えました。今年の干支は乙巳(きのとみ)。十干の乙(きのと)と十二支の巳(み)を組み合わせた年です。「乙」は、植物がしなやかに伸びていく意味合いがあり、「巳」は脱皮を繰り返して成長していく蛇を表しています。つまり、「乙巳の年」は努力が実を結び始め成長を感じられる年といえそうです。

調べてみると、蛇は、成体(おとな)では数ヶ月に1回ほどですが、幼体(こども)では数週間に1回ほども脱皮を繰り返すそうです。脱皮を成長と捉えると、子どもたちほど成長の機会は格段に多いということです。たしかに、学校で子どもたちを見ていると、脱皮をするがごとく成長を感じられる瞬間があります。私たち大人は、自分の力で脱皮する子どもたちの力を信じ、子どもたちが粘り強く努力する姿を応援したいと思います。



祈りと誓いの塔

今冬、大阪教育大附属池田小学校を訪問し、「祈りと誓いの塔」に祈りを捧げて参りました。

小学校への不審者侵入、そして、尊い8名の命が奪われた池田小学校での事件が起きたのは平成13年。当時、私は中堅教師として、そして、2人の娘の母として、あの事件の衝撃はあまりに大きく、思い出すと今も胸が締め付けられます。

あれから四半世紀。私たちは、子どもたちの命の安全性を高めることができたのでしょうか。

当時6年生の担任であったという現校長先生に、非常ベルが314箇所もつけられているという校内を案内していただきました。しかし、ハード面の整備だけでは到底足りません。やはり、学校・地域・家庭が一丸となって命を守る覚悟をもつこと、そして、命の大切さや思いやりの心を一人一人が心に刻む教育を行うこと、その大切さを再確認した訪問となりました。